



三春中学校だより

第 18 号

発行日 令和 元年 7 月 16 日
発行所 三春町立三春中学校
電 話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978
E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【『食』への意識は高まってきています！ ～一つ一つがこれまでの学習の成果ですが。～】

◎ 三春中生徒の『食』への意識状況〔食育に関するアンケート（文部科学省）〕

【設問 1-①】朝食を食べることは大切だと思いますか。

	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない	無回答
30年7月	88.1	10.3	0.9	0.3	0.3
31年1月	89.9	8.8	0.7	0.3	0.3

※ 98.7%の生徒が朝食を食べることの大切さを意識している。

【設問 2】朝食を毎日食べていますか。

	(ア) ほとんど毎日	(イ) 週に4~5日	(ウ) 週に2~3日	(エ) 週に1日程度	(オ) ほとんどない
30年7月	85.6	7.8	4.1	0.3	1.9
31年1月	86.6	5.2	4.2	1.0	2.6

※ 91.8%の生徒が朝食を食べている。

【設問 1-②】家族などと一緒に食事をとることは大切だと思いますか。

	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない	無回答
30年7月	58.4	30.6	9.4	1.6	0.0
31年1月	59.2	27.5	10.1	2.9	0.3

※ 86.7%の生徒が『共食』の大切さを意識している。

【設問 3】朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。

	(ア) ほとんど毎日	(イ) 週に4~5日	(ウ) 週に2~3日	(エ) 週に1日程度	(オ) ほとんどない	無回答
30年7月	51.6	13.1	8.1	4.1	22.8	0.3
31年1月	51.6	12.7	11.1	2.6	21.6	0.3

※ 21.6%の生徒が朝食を家族と一緒にほとんど食べない。

【設問 4】夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。

	(ア) ほとんど毎日	(イ) 週に4~5日	(ウ) 週に2~3日	(エ) 週に1日程度	(オ) ほとんどない	無回答
30年7月	76.9	10.3	7.5	2.8	2.2	0.0
31年1月	78.4	10.8	7.8	1.0	1.6	0.3

※ 89.2%の生徒が夕食を家族と一緒に食べ、2.6%の生徒は夕食を家族と食べない。

【設問 1-③】栄養バランスを考えた食事をとることは大切だと思いますか。

	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない	無回答
30年7月	85.3	13.8	0.9	0.0	0.0
31年1月	86.3	12.7	0.7	0.3	0.0

※ 99.0%の生徒が栄養バランスのよい食事をとることの大切さを意識している。

【設問 5】主食、主菜、副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上ある（学校給食も1回に数えます。）のは、週に何日ありますか。

	(ア) ほとんど毎日	(イ) 週に4~5日	(ウ) 週に2~3日	(エ) 週に1日程度	(オ) ほとんどない
30年7月	46.6	34.4	13.1	2.2	3.8
31年1月	46.4	35.9	11.8	2.9	2.9

※ 82.3%の生徒がバランスのよい食事を、5.8%の生徒がよくない食事をしている。

【設問 1-④】ゆっくりよく噛んで食べることは大切だと思いますか。

	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない	無回答
30年7月	66.6	27.8	5.0	0.6	0.0
31年1月	69.6	23.5	6.5	0.3	0.0

※ 93.1%の生徒がゆっくりよく噛んで食べることの大切さを理解している。

【設問 1-⑤】食事マナーを身につけることは大切だと思いますか。

	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない	無回答
30年7月	83.4	15.3	0.9	0.3	0.0
31年1月	84.6	13.7	1.6	0.0	0.0

※ 98.3%の生徒が食事マナーの大切さを意識している。

【設問 1-⑦】食事（給食）の際に衛生的な行動をとることは大切だと思いますか。

	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない	無回答
30年7月	86.9	10.9	2.2	0.0	0.0
31年1月	85.9	13.4	0.7	0.0	0.0

※ 99.3%の生徒が食事の際の衛生の大切さを意識している。

【設問 1-⑥】伝統的な食文化や行事食を学ぶことは大切だと思いますか。

	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない	無回答
30年7月	45.0	43.4	10.0	1.3	0.3
31年1月	46.7	40.2	11.1	1.6	0.3

※ 86.9%の生徒が伝統的な食文化を大切だと考えている。

以上が昨年度の三春中学校の子どもたちの『食』に関する考え方です。教育活動はそれまでの指導の成果と課題をもとに組み立てられます。

本校が取り組んでいる文部科学省指定『つながる食育推進事業』は、上記の青や赤の内容をもとに、令和元年度も文部科学省より指定をいただきました。

『青』い部分を見ると、ほとんど80%以上という『食』に関する高い意識を示しておりますが、『赤』い部分に注目すると、まったく、あるいは、ほとんど、家族と一緒に夕食を食べていないという結果も見えてきます。さまざまな事情がありますので、一概に、“何とか”と言うことはできません。ただ、1週間ずっとたった一人で夕食を食べている姿を想像すると、“何だか”と思ってしまう自分もいます。

もうひとつ、『赤』い部分の“バランスのよい食事”を手軽に提供できる方法は何かないものか、生涯にわたってこの子どもたちが健康でいられるよう、ご家庭と一緒にそのことについても考え、取り組んでまいりたいと思います。

令和元年度も、本校『つながる食育推進事業』へのご理解・ご協力、そして、それぞれの場での『食』の充実についてどうぞよろしくお願ひいたします。

【『社会を明るくする運動』本校で実施！ ～あいさつが人と人をつなぐ。～】

7月9日（火）の早朝、昇降口前の広場には、黄色いはっぴ姿のみなさんと田村警察署のみなさんが『V』の字型に展開し、登校してくる子どもたちを昇降口に追い込むような形にみえました。毎年おいでいただいている方が多かったのですが、子どもたちにとってはそれほどなじみのない方々だったはず。しかし、『V』の字のみなさんの温かな笑顔から発せられる温かなあいさつに、中学生もしっかり答え、戸惑いながらも、子どもたちの表情には笑顔が見られました。

あまりなじみのない人同士でも笑顔を誘ってくれるあいさつ。あいさつは人と人をつなげるとても便利なツールでもあります。「やたら声かけをすると不審者と思われてしまう。」という大人の声も聞かれはしますが、いつでも、どこでも、笑顔であいさつを交わすことのできる地域づくりを、『V』の字のみなさんも私たちも切に望みます。



“社会を明るくする運動”

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、2019年で69回目を迎えます。

テレビや新聞では、毎日のように事件（犯罪）のニュースが報道されています。安全で安心な暮らしはすべての人の望みです。犯罪や非行をなくすためにはどうすればよいのでしょうか。取締りを強化して、罪を犯した人を処罰することも必要なことです。しかし、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることも、また、とても大切なことなのです。

立ち直りを支える家庭や地域をつくる。そのためには、一部の人たちだけでなく、地域のすべての人たちがそれぞれの立場で関わっていく必要があります。“社会を明るくする運動”では、犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることをめざしています。

【雑巾がけが元に戻り、心を込めた活動が随所に！～人と人の心をつなぐを大切に。～】

7月11日（木）は、グラウンドに全校生が集合し、全生徒と教職員による全校撮影が行われました。その隣の写真はいつもの校務センター前の雑巾がけの様子です。見事なまでにきちんとそろえられています。子どもたちの心の現れです。右の写真は3階家庭科室前ピアノの近くに掲示された歌の歌詞です。すばらしい友と一緒にいられるような自分であるため、自分もがんばるよという詩で、人との心をつなぐを歌詞にしたものです。その歌詞を子どもたちは心一つに歌い上げます。目に見えるものを通し、その背後にある心の美しさや乱れ、不安や喜び、そんな子どもたちの心の中に敏感である教師でありたいと思います。

